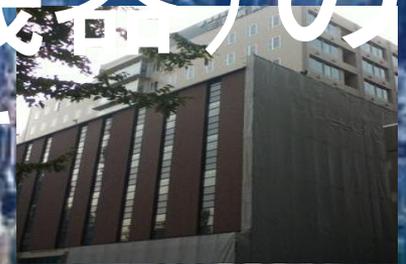


SUD(単回使用医療機器)の 再製造について



国際医療福祉大学大学院教授
医療経営管理分野責任者
武藤正樹

目次

- はじめに
 - 国際医療福祉大学のご紹介
- パート1
 - 日本再興戦略と医工連携
- パート2
 - SUDの再使用の実態
- パート3
 - SUS再製造の海外事情
- パート4
 - 国内におけるSUD再製造の今後



国際医療福祉大学のご紹介

栃木県大田原市

国際医療福祉大学



3つの基本理念

「人間中心の大学」
であること

「社会に開かれた大学」
であること

「国際性を目指した大学」
であること



北島政樹副理事長

大学院 医療福祉学研究科

修士課程:保健医療学専攻、医療福祉経営専攻 随
博士課程:保健医療学専攻

大学院 薬科学研究科 薬学研究科

修士課程:生命薬科学専攻
博士課程:医療・生命薬学専攻

文部科学省

「がんプロフェッショナル養成プラン」採択事業

保健医療学部

看護学科、理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、
視機能療法学科、放射線・情報科学科

医療福祉学部

医療福祉・マネジメント学科

薬学部

薬学科

福岡保健医療学部 (福岡県 大川キャンパス)

理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科
医学検査学科

福岡看護学部 (福岡県 福岡キャンパス)

看護学科

小田原保健医療学部 (神奈川県 小田原キャンパス)

看護学科、理学療法学科、作業療法学科

専攻

<特徴>

- 栃木本校のほかサテライトキャンパスも設置
(東京・小田原・熱海・福岡・大川)
- 同時双方向遠隔授業
- 医療職のための本格的な生涯学習コース、
「乃木坂スクール」開講

大学附属施設

(353床)



国際医療福祉大学病院

(240床)



国際医療福祉大学塩谷病院

(291床)



国際医療福祉大学三田病院

(269床)



国際医療福祉大学熱海病院



国際医療福祉大学クリニック



国際医療福祉大学 三田病院

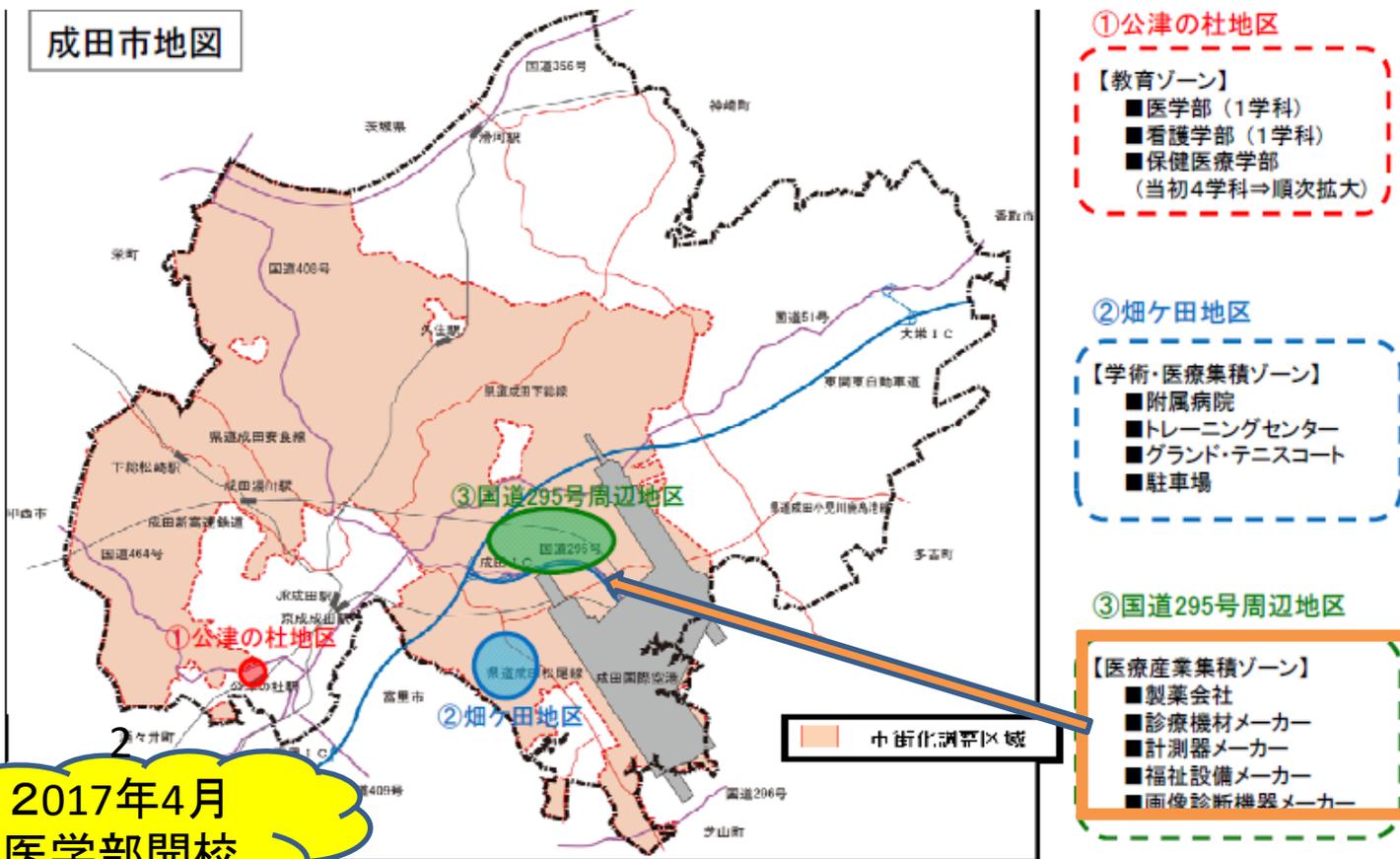
国際医療福祉大学
三田病院

国際医療福祉大学三田病院

1. 構想の概要(4)

成田市と国際医療福祉大学は、「公津の杜(教育ゾーン)」および「畑ヶ田地区(学術・医療集積ゾーン)」で医

国際医療学園都市構想





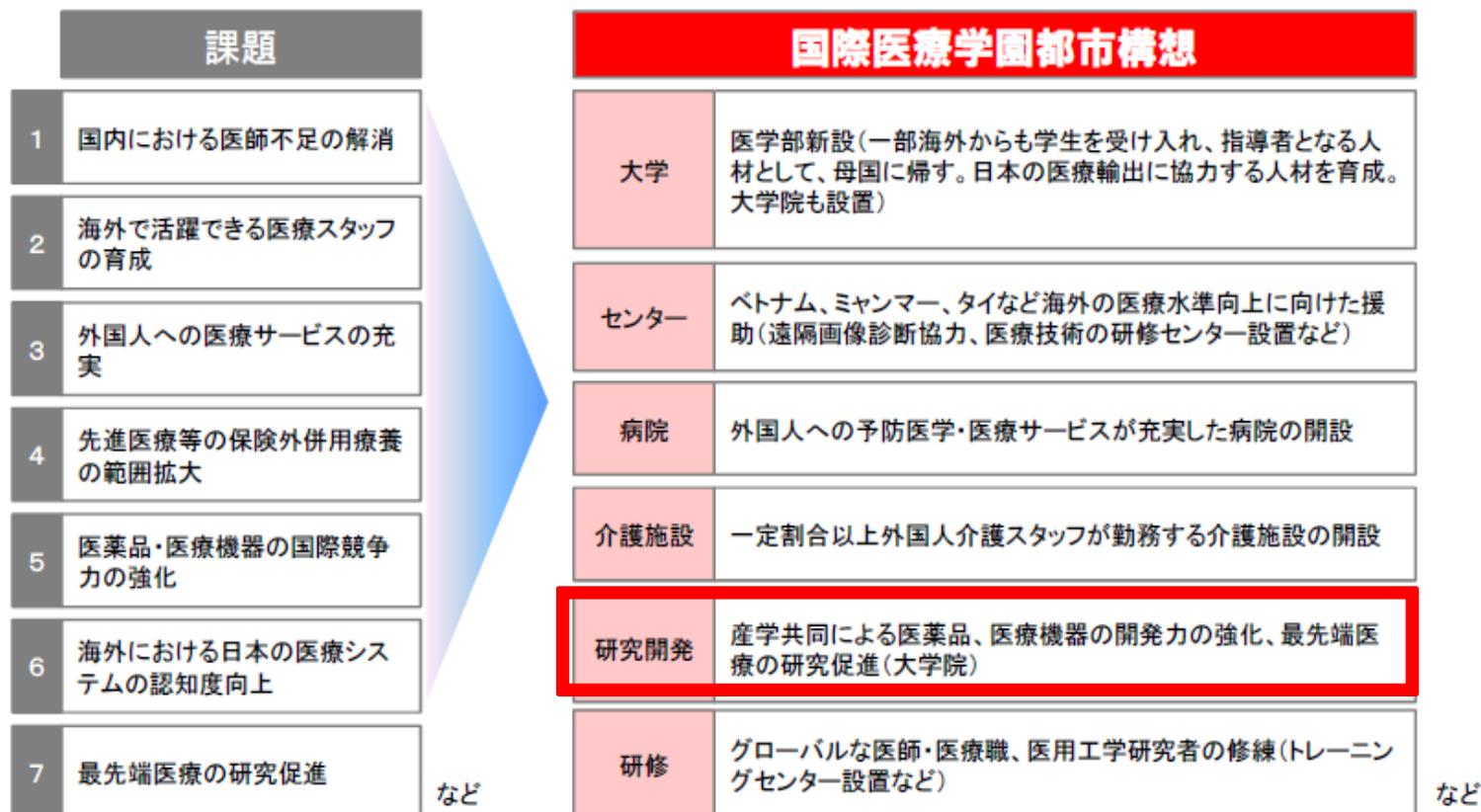
**INTERNATIONAL
UNIVERSITY OF
HEALTH AND WELFARE**

New School of Medicine will be established in Narita in April 2017 (Government approval of the establishment in process)



1. 構想の概要(2)

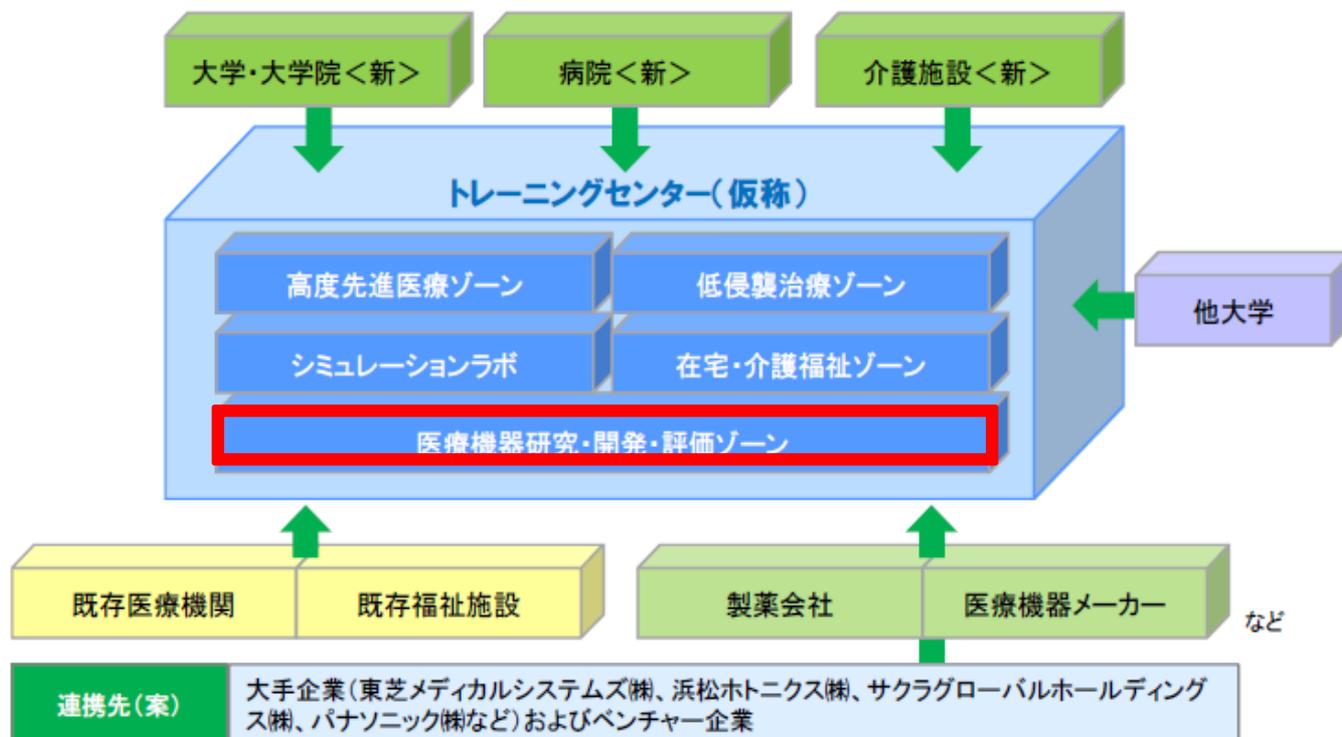
国際医療学園都市構想



4. 企業との連携(1)

①トレーニングセンターの設置(1)

成田市と国際医療福祉大学や既存医療機関、既存福祉施設、製薬会社、医療機器メーカー、他大学などが協力して、国際医療学園都市内に、医師、メディカルスタッフ、医用工学研究者などが医療技術の研修を行う「トレーニングセンター(仮称)」を設置します。



パート1

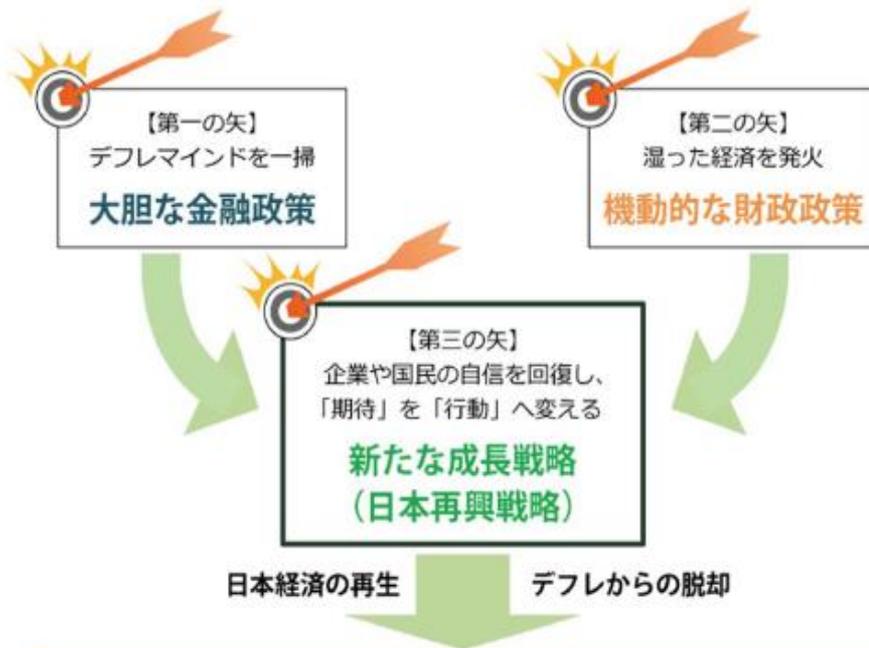
日本再興戦略と医工連携



2013年

成長戦略(日本再興戦略)(6月14日閣議決定)

- 平成25年6月14日、安倍政権「三本目の矢」となる成長戦略(日本再興戦略)を閣議決定。
- 「戦略市場創造プラン」の4つのテーマの1つが「国民の『健康寿命』の延伸」。



10年間の平均で名目GDP成長率3%程度、実質GDP成長率2%程度の実現を目指します。
これにより、10年後に1人当たり名目国民総所得の150万円以上の拡大が期待されます。

テーマ1:国民の「健康寿命」の延伸

テーマ2:クリーン・経済的なエネルギー需給の実現

テーマ3:安全・便利で経済的な次世代インフラの構築

テーマ4:世界を惹きつける地域資源で稼ぐ地域社会の実現





3つのアクションプラン

– 日本産業再興プラン

- 2. 雇用制度改革・人材力の強化
 - 2-3. **大学改革/グローバル化等に対応する人材力の強化**
- 3. 科学技術イノベーションの推進/世界最高の知財立国
 - i) **イノベーションを生み出す環境整備「橋渡し」機能強化、**
「クロスアポイントメント制度」等の活用 等
 - ii) 知的財産・標準化戦略の推進、職務発明制度・営業秘密保護の強化、国際的に遜色ない特許スピード・質の高い審査実現 等
 - **iii) ロボットによる新たな産業革命の実現**
- 戦略市場創造プラン
 - テーマ1 国民の「健康寿命」の延伸
 - i) 効率的で質の高いサービス提供体制の確立
 - » **非営利ホールディングカンパニー型法人制度(仮称)の創設 等**
 - ii) 公的保険外のサービス産業の活性化
 - » 個人・保険者・経営者等に対する健康・予防インセンティブ付与、ヘルスケア産業の市場環境整備等
 - iii) 保険給付対象範囲の整理・検討
 - » 保険外併用療養費制度の拡大 等
 - iv) **医療介護のICT化**

経済産業省における医療機器産業政策の方向性

新たな医療分野の研究開発体制の下、各省連携したオールジャパンの医療機器開発に積極的に貢献

医工連携による医療機器開発(①)

○高度なものづくり技術を有する中小企業・ベンチャー等の新規参入、医療機関との連携(医工連携)を促進し、安全性や操作性の向上など、医療現場のニーズに応える医療機器の開発・実用化を推進

■医工連携事業化推進事業(30.5億円)
(経産省) → (日本医療研究開発機構(27年度~))

世界最先端の医療機器開発(②)

○産学官が連携し、日本が強みを持つ診断技術やロボット技術等を活用した最先端の診断・治療システム等の開発を国家プロジェクトとして推進

■未来医療を実現する医療機器システム研究開発(35億円)
(NEDO) → (日本医療研究開発機構(27年度~))

規制制度に対応した事業環境整備

○医療機器の開発や審査の円滑化に資する評価指標及び開発ガイドラインの策定(③)

■厚労省が「評価指標」、経産省が「開発ガイドライン」の策定を担当し、両省が連携して実施

○法規制対象外となる「医療用ソフトウェア」に係る業界自主ルール検討への協力(④)

■「医療用ソフトウェアに関する研究会」等の場で厚労省と連携して検討

海外の医療機器市場の獲得(⑤)

○世界の医療インフラ需要獲得に向けた、医療機器とサービスの一体的な海外展開

■医療機器・サービス国際化推進事業(10億円)

これまでの成果と今後の見通し

直接的な成果

LSFG-NAVI
(ソフトケア衛)



既に17団体/28機器が
医療機器として
上市

リーク・カッター
(機トップ)

パスファイン
(ケイセイ医科工業株)



Newly-evolved
Humming-View
モニター
(日本光電)



デイスボ-ザフルレー (機法研)

印象用トシ
(機トシ)



FINO (機クラール)

製品名: ジェイアッププロネ

プロキシマルフェモラルネイルシステム
(東海部品株)

製品名: ジェイアッププロネ

セットアップ

さらに7団体/20機器が
今年度中に上市予定

波及的な成果

さらに情報収集したいと申し出



医工連携による
医療機器事業化ガイドブック
(採択案件から事業化のヒントを抽出)

全国の医工連携支援機関
のネットワーク形成



これまでの成果

今後の見通し

全国の医工連携支援機関によるネットワークの形成促進 （「全国医工連携支援機関ネットワーク会議」の開催）

講演風景



グループワークの様子（地域会議）



医工連携による医療機器開発

市場競争力のある医療機器を創出するために、医工連携は不可欠です。

「医工連携」というキーワードは、「医学従事者と工学従事者」、「医学と工学」など様々な意味で用いられていますが、課題解決型医療機器等開発事業では「医療現場（医療機関）とものづくり企業（工業会）」を指しており、日本のものづくり力を活かした医療機器の創出を強力に推進しています。

一般的な「産学連携」と異なる「医工連携」

新しい医療機器のアイデアが生まれる場は医療機関、特に大学（大学病院）です。大学と企業の連携という意味では、科学技術イノベーション政策の一環として長年「産学連携」が推進されてきました。医工連携と産学連携、一見同じような意味に感じられますが、何が違うのでしょうか。

産学連携の場合：「技術」を知る大学、「市場」を知る産業界

一般的な産学連携では、先端科学研究を行っている大学が保有する画期的な「技術シーズ」を元に、市場ニーズに精通し事業化ノウハウを有する企業がイノベティブな製品・サービスを創出するという「技術移転モデル」が想定されています。

医工連携の場合：「市場」を知る大学、「技術」を知る産業界

一方、医療機器開発においては、大学（大学病院）は医療機器の買い手＝市場となります。そこで働く医師や看護師等の意見は市場ニーズそのものです。医工連携とは、医療現場（大学）が持つ市場ニーズを、技術シーズを有する企業が具現化することでイノベティブな医療機器を創出する「ニーズ移転モデル」であり、そのことが産学連携と大きく異なります。

このため医工連携では次のような失敗が起こりやすくなります。

医工連携

市場を知る大学、技術を知る産業界



企業主導型～技術を知る産業界～

人型洗濯ロボットの開発の怪？

わが社は人型
ロボットの技
術を応用して
洗濯ロボッ
トの開発に取り
組めます



洗濯機で
十分なの
では？



企業は自社の優れた技術は
医療にも応用可能と思いがち...

大学主導型～市場を知る大学～ これは絶対売れる、作ってくれ！

薬事承認にも時間がかかるし、たとえ承認されたとしても、商品化のメドはつくのだろうか？
その間の資金繰りは？



医者の言っていることが、
的を得ているかということ…
そうでもない

大学主導型 初期胃カメラの開発の失敗



- 1949(昭和24)年、東大分院のある医師から「患者の胃のなかを写して見るカメラをつくってほしい」という難題がオリンパス光学工業(現・オリンパス)にもちこまれた。
- これがその後の「胃カメラ」の開発の始まりとなる。
- 極小レンズの製作、強い光源の検討、本体軟性管の材質探し、最適なフィルムの手入れや水漏れ対策の追及などすべてが手探りの試行錯誤の連続
- 1950年、言葉では言い尽くせない苦難のなかから生まれた試作1号機は、本体軟性管の先端に撮影レンズがあり、フィルムは白黒で幅6ミリ、手許の操作で豆ランプをフラッシュさせて撮影し、ワイヤーで引っばってフィルムを巻き上げるものでした。しかし、この器械はまだまだ不満足なもので、臨床的に十分使えるまでには至らなかった。
- その後、東大第一内科の医師と当社技術開発陣の協力でかすかすの難問をクリアし、胃カメラは完成した。



企業主導型：パルスオキシメーターの国内商品化の失敗

- 1977年にミノルタカメラ社(現：コニカミノルタセンシング社)の山西昭夫らによって、世界初の指先測定タイプのパルスオキシメーターが商品化された。
- しかし国内では売れなかった・・・
- ミノルタカメラがアメリカにパルスオキシメーターを持ち込み、アメリカのバイオクス社・ネルコア社がその技術を改良し、麻酔中のモニターとしてパルスオキシメーターがまずアメリカで1980年代にようやく売れるようになった
- 初期のパルスオキシメーターは据え置き型(スタンドアローン)で、患者のベッドサイドでモニタリングできるものが主流であった。
- 1990年代になって、ヨーロッパで小型でハンドヘルドタイプのものが開発された。
- 日本ではミノルタカメラが1992年のハンドヘルドタイプのPULSOX-5を発売した
- 1993年に、久保田博南により小型化・ポータブルタイプの必要性が提唱された。
- 1997年に、日本のコニカミノルタセンシング社で腕時計タイプのものが商品化され、同時期以降、センサと本体を一体化して指につけられる超小型の装置が主流となった。

医工連携、まず現場を見る！

- 横浜金沢八景の済生会若草病院手術室で、腹腔鏡下鼠径ヘルニアの手術見学
- 経済産業省関東経済産業局、木原記念横浜生命科学振興財団の方々と見学。
- 内視鏡下ヘルニア修復術の見学



フォガティ・インスティテュート・ フォー・イノベーション

- シリコンバレーのフォガティ・インスティテュート・フォー・イノベーション
- 同施設は、エルカミノ病院内にある医療機器開発拠点で、病院や患者のニーズに合わせて、医師とエンジニアが医療機器を開発することに対して支援を行っている



エルカミノ病院

麻生飯塚病院



麻生飯塚病院



麻生泰会長



昨年エルカミノ病院（左）、FII（右）の方々が来院しました

医工連携のロードマップ



市場探索



コンセプト設計



開発設計



製造サービス提供



販売マーケ



市場へ



医工連携ロードマップは……

山あり 谷あり…



よいつしよ



地獄の山あり、死の谷あり……

よいつしよ

長い道のり、コーチも必要、
伴走者も必要！



医工連携の伴走コンサルが必要！

開発医療機器は医療機器クラス分類のどこを狙うのか？

医療機器のクラス分類

高

人体に対するリスク

クラスⅣ (335 一般的名称)

患者への浸襲性が高く、不具合が生じた場合、生命の危機に直結する恐れがあるもの
例) ペースメーカ、ステント

クラスⅢ (753 一般的名称)

不具合が生じた場合、人体へのリスクが比較的高いと考えられるもの
例) 透析器、バルーンカテーテル

クラスⅡ (1,790 一般的名称)

不具合が生じた場合でも、人体へのリスクが比較的低いと考えられるもの
例) 電子式血圧計、消化器用カテーテル、MRI

クラスⅠ (1,195 一般的名称)

不具合が生じた場合でも、人体へのリスクがきわめて低いと考えられるもの
例) ピンセット、機械式聴診器、体外診断用機器

高度管理医療機器

管理医療機器

一般医療機器

技術と医の知恵を結集して 医工連携を！



pixta.jp - 3234857

パート2

単回使用機器 (SUD)の再使用の実態 (SUD:single use device)



デイスポの髭剃りは何回使える？

SUDの規定

- SUD の製造販売に関しては厚生労働省の行政通知により以下の基準が示されている
 - 2001年12月14日医薬局安全対策課長通知(医薬安初第158号)により「**単回使用の医療用具については**、**……『再使用禁止』と記載するとともに『禁忌・禁止』の項にも記載すること。**」としている
 - 2004年2月9日付厚生労働省医政局長通知(医政発第0209003号)により
 - 「ペースメーカーや人工弁等の埋め込み型の医療材料については医療安全や感染の防止を担保する観点から、その性能や安全性を十分に保証し得ない場合は再使用しない等の措置をとるなど、医療機関として十分注意されるよう(中略)よろしく願います」と注意喚起がなされている。

SUDの使いまわし事例

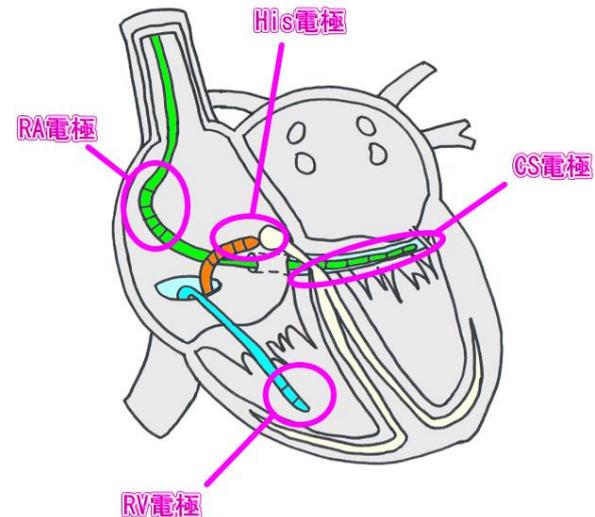


事例① 神経電極カテーテル例

- 神経電極 (EP)カテーテルの院内滅菌による使いまわし・・・
- 不整脈のアブレーション治療に用いる電極カテーテルは1本20万円し、1回に4～5本使用する。



神経電極カテーテル



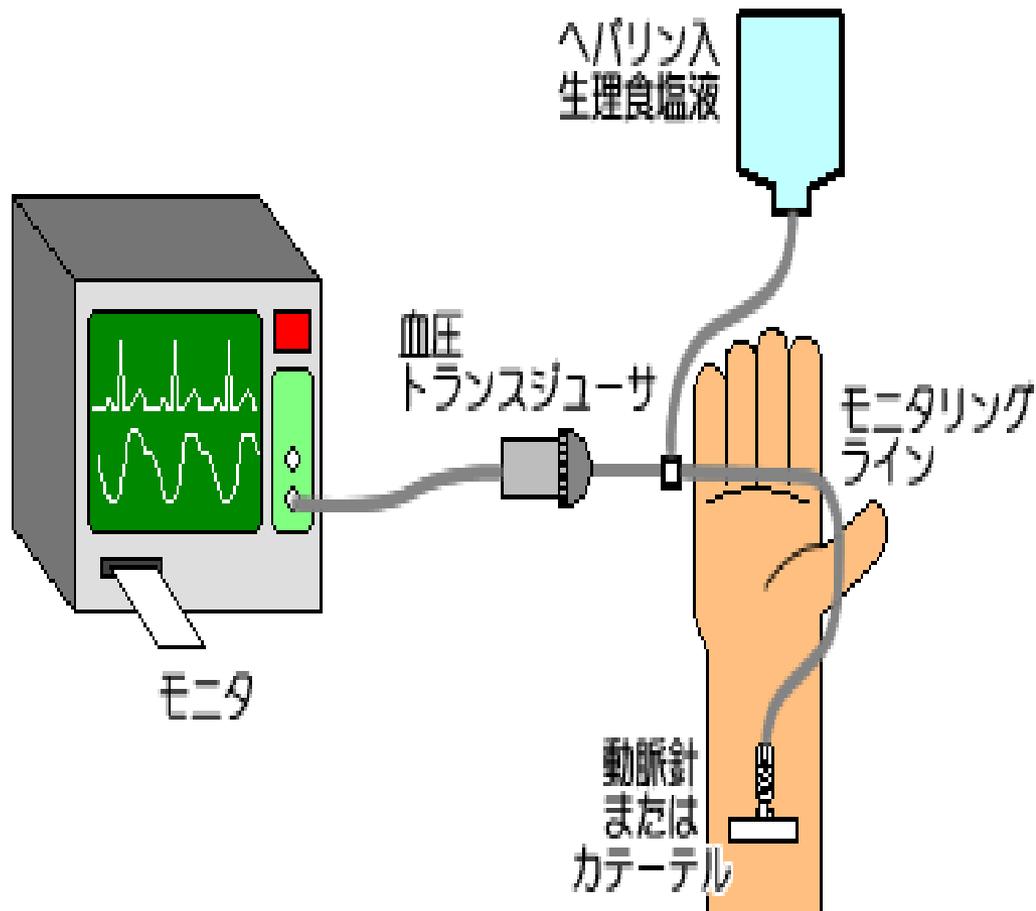
電極カテーテルの使いまわし

- 2015年7月、神戸大学病院においてSUDである神経生理電極(EP)カテーテルが約300人の患者に院内滅菌の上、再使用された可能性がある
- このように病院が独自に判断して行うSUDの院内滅菌後の複数回にわたる再使用は、医療機器製造メーカーによる安全性や性能の保証がなく、感染や製品劣化のリスクなど、多くの課題が指摘されている。

事例② 圧トランスデューサー

- 2007年末、神奈川県内の医療機関で心臓カテーテル検査・治療を受けた複数の患者に、C型肝炎が発症するという院内感染事例が発生
- その後の調査で心臓カテーテルの圧モニターを行う単回使用の圧トランスデューサーが交換されずに再使用されていたことが判明した。

圧トランスデューサー



圧トランスデューサー

圧トランスデューサー

- この事件を契機に単回使用(SUD)圧トランスデューサーの取り扱いを、改めて見直すことになった
- 日本循環器学会でも、これまで再利用されてきた単回使用の圧トランスデューサーは「原則として単回使用とすること」の徹底を会員に図ることとした
- しかし同時にその価格が高いことから、同製品を特定保険医療材料扱いとしてほしいという要望も合わせて提出している

事例③ 電気メス



- 日本医療機能評価機構のヒヤリハット事例におけるSUD事例
 - 全身麻酔下で、電気メス使用中にパチンと音が鳴った。術野周囲を調べてみたら電気メスの替え刃の接続部分のプラスチックが欠けていた。手術終了間際だったので体内に破片の遺残がないことを確認して閉創した
 - この電気メスの替え刃は本来単回使用のディスポ製品であるが、これを再滅菌して使用していた。滅菌回数は不明であった。
 - 病院の対応としては電気メスの替え刃は、ディスポ製品であり単回使用にするよう各医師の協力を得て手術室運営会議で決定したという。

事例④ リガシユア



- リガシユアの使いまわし
 - 2014年5月20日の読売新聞の報道
 - 大阪府堺市北区の国立病院機構近畿中央胸部疾患センターは、再使用が禁止されている胸腔鏡手術用の器材の使い回しをしていたと発表した。
 - しかし健康被害は確認されていないという。
 - 使いまわしをしていたのは、肺腫瘍を切除するために使われる器材
 - 手術器具を体内に入れるために傷口を広げて固定するラップ
 - 縫合した糸を切るはハサミ
 - 血管に熱を通して接合する器具「リガシユアブラントチップ」の3種類であった。

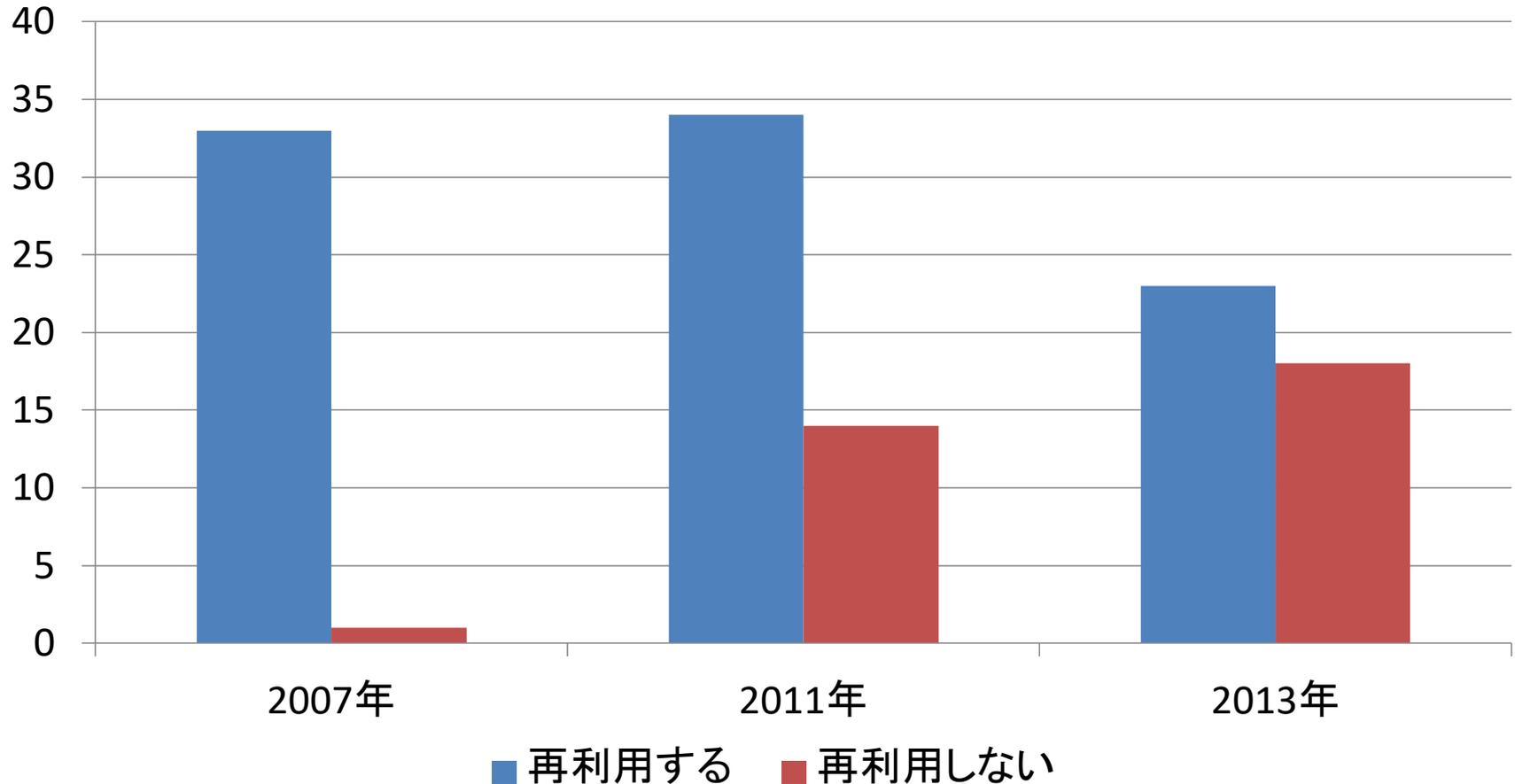
リガシュアの使いまわし

- これらの器材を同センターでは2008年から6年間に約2300人の手術に、院内で再滅菌して再利用していた
- これら器材の添付文書には、「再使用禁止」と明記されていた
- 同センターは「厚生労働省の通達で、ペースメーカーや人口弁など埋め込み型の医療用具で安全性が保証されない場合は再使用禁止とされ、それ以外はかまわないと拡大解釈した」
- 堺市保健所は、安全管理を怠っていたなどとして医療法に基づき近く指導するという
- 同センターの院長は「医療機器の管理や使用方法の順守に努める。関係者の皆さまにご心配をかけ、深くおわびする」と述べた。

SUDの再利用の全国調査

全国国立大学医学部付属病院材料部長会議

施設数

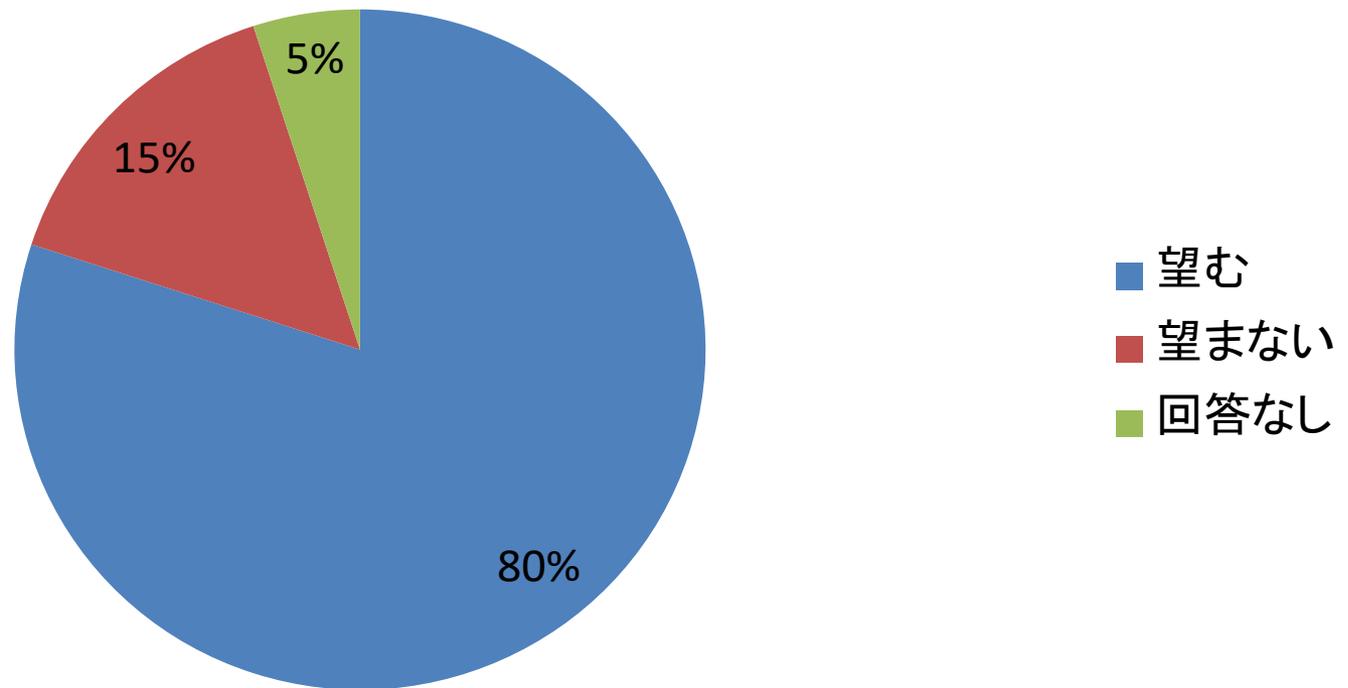


2013年の全国国立大学医学部付属病院材料部長会議の施設アンケート調査

SUDの再利用についての全国調査

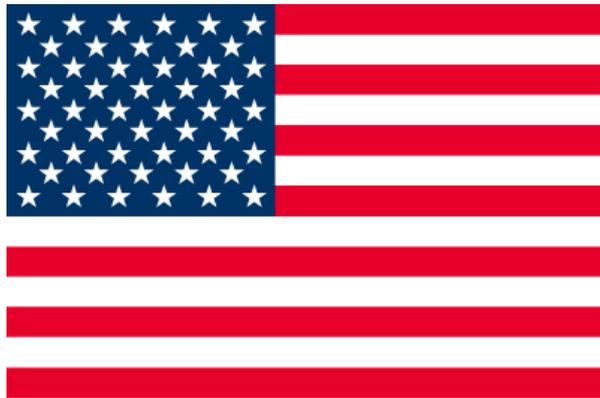
全国国立大学医学部附属病院材料部長会議(2013年調査)

法的整備を望むか？



パート2

SUD再製造の海外事情



海外でもSUDの使いまわしが問題となっている・・・

米国のSUD再製造の事情



米国のSUD事情

- 実は米国でもSUDの院内滅菌による再利用が2000年以前には、現在の日本のように頻繁に行われていた
- しかし2000年以降、米国の医薬食品局(FDA)がSUDの再製造の安全基準と、再製造されたSUDは新品と同等であるという承認基準「510K」を整備して、SUDの再製造の公式な道を切り開く。
- この過程には米国議会、会計検査院などの働きかけがあった。

SUD再製造企業の現状

- 公式に認められたSUDの再製造であるが、現在はストライカー社、ジョンソン&ジョンソン社、コビディエン社など大手医療器材メーカーも、SUD再製造領域に参入している。
- また米国以外でもヨーロッパではドイツやイスラエルでは同様にSUDの再製造が盛んだ。
- 最近、英国でもNHSが再製造品に使用を検討している。
- しかし、日本では行われていない！

米国のSUD再製造の現状

ストライカー社

- アリゾナ州フェニックスにあるストライカー社のSUD再製造工場では、使用済みの神経生理電極カテーテル（EPカテーテル）や超音波カテーテルの再製造を専用ラインで行っている
- フロリダにあるストライカー社の別工場では、ハーモニックスカルペルや内視鏡的手術に用いる器材、トロッカーなどの再製造もおこなっている。
- そして再製造したSUDはFDAの承認のもと市場に出荷されることになる
- こうしたFDA承認済みのSUDのコストは新品のSUDよりはもちろん安価となり、およそ新品の50～70%程度の価格である

米国のSUD再製造の現状

- 今年5月、我々はこうした米国におけるSUDの再製造の現状をアリゾナ州のフェニックスのストライカーの再製造工場を見学し、実際にその使用の現場をロスアンゼルスにあるUCLAで見学してきた
- フェニックスのストライカー社のSUDの再製造工場を見学
 - 神経生理電極(EP)カテーテルや超音波カテーテルの使用済品を病院から回収して、洗浄、消毒、機能テスト、不具合があるときは分解して部品を取り換えて、再組み立てをして滅菌、そしてパッケージをして市場に出している。

EPカテーテルの洗浄作業(ストライカー社フェニックス)



EPカテーテルの機能テスト作業 (ストライカー社フェニックス)



stryker



Stryker
Sustainability Solutions

Daig Response Fixed Curve
Diagnostic EP Catheter

Daig Response Fixed Curve
Diagnostic EP Catheter

DEM No: 401400
CEN 00 2016 Medical

Size: 6F

Curve: CSL

Length: 65CM

Part No: 001000

Lot No: 000000

Exp Date: 00/00/00

Barcode

Electrodes: 10
Spacing: 5mm
Length: 110

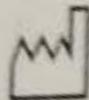
SYK No: 81595

LOT 222711E

SN: 1575649

Quantity: 1

Reuse Cycle: 1 of 4



2013-08



2015-08

STERILE EO



R & Only



Reprocessed by Stryker Sustainability Solutions
1810 W. Drake Dr Tempe, AZ 85283-4327 (USA)
888 888 3433 (US Only)
IFU at sustainability.stryker.com

Only Stryker Sustainability Solutions bears responsibility for this device. The OM information listed on the label is provided as device identification prior to receipt and may contain trademarks of unrelated third parties that do not sponsor this device. Reprocessed Device for Single Use

米国のSUD使用の現状

- ロスアンゼルスにあるUCLAのロナルドレーガン病院の心臓カテーテル室で見学
- この病院ではEPカテーテルを使用した場合は専用の回収ボックスに収納する
- そしてこの回収ボックスは先のストライカーなどのSUD再製造工場に送られて再製造の上、病院に戻ってくる
- EPカテーテルの場合、6回まで再利用が可能だという。このためこの病院の心臓カテーテル室の棚には、ストライカー社の再製造製品が数多く備蓄されていた。

米国のSUD使用の現状

- 手術室
 - 深部静脈血栓用の弾性ストッキング、手術用トロッカー、内視鏡下手術用の器具、ハーモニックスカルペルなどを外部の再製造メーカーに依頼して再生の上、使用
- 再製造品に心配された感染事故や患者有害事象が発生した経験も全くないという

米国のSUD使用の現状

- 経済効果

- 1本20万円以上もするEPカテーテルの場合、1回のアビュレーション処置の場合、マッピング用のEPカテーテルを4～5本使用し、さらにアビュレーション用EPカテーテルを1本使う。
- このため1本20万円以上もするカテーテルを合計5～6本、価格にして100万円から120万円も使用する
- この価格が半分近くにも安価になる
- とくに米国の場合、DRGによって1入院包括の中に材料費も含まれる。このため安価な再製造品を使用することは病院にとって大きな利益を生む。

UCLAロナルドレーガン記念病院





武藤

上塚先生

UCLAロナルドレーガン記念病院心カテ室



EPカテーテルの再製造品



EPカテーテル回収ボックス



米国のSUD再製造の過去

- 米国でもSUDの再製造にあたってはさまざまな課題があったようだ
- この間の事情を今回の視察中に、もとFDAの職員でSUDの再製造の承認の仕組みの創設にもかかわった経験のある弁護士のステファン・ターマン氏から聞くことができた
- 米国でSUDの再製造とその承認への取り組みが始まった2000年前後、SUDの再製造品を使うことには最初、先発医療材料企業や、感染事故を心配する現場の看護師から反対があったという
- そして当時は、患者に対して再製造品を使用することについてインフォームドコンセントも行っていたという。
- ターマン氏によればこのSUDの抵抗の歴史はちょうど「ジェネリック医薬品の普及の初期に起きた抵抗の歴史と同じだ」という。
- しかし今では全く現場の抵抗感はないという

SUDの再製造は
ジェネリック医薬品
の歴史と同じ

元FDAの職員でSUDの再製造の承認の仕組みの創設に尽力した
弁護士のステファン・ターマン氏(ロスアンゼルスで)

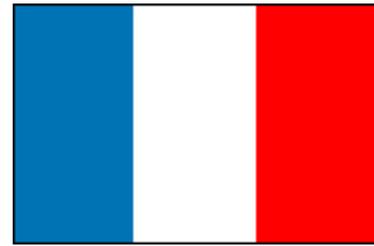
EU諸国のSUD再製造事情



ドイツ



イギリス



フランス



ドイツ

ドイツにおけるSUD再製造

- ドイツでは2002年以降、ロベルトコッホ研究所 (RKI) と医薬品医療機器連邦研究所 (BfArM) の委員会 (KRINKO: Kommission für Krankenhaushygiene und Infektionsprävention beim Robert Koch-Institut) による「病院衛生と感染防止に係る勧告」(以下「**KRINKO勧告**」という。)を満たす条件のもと、再製造品はOEM品と同等として取り扱われており、多くの病院でSUD再製造品を使用している。

ドイツにおけるSUD再製造

- ドイツのSUD再製造の特徴は再処理および再製造企業が各病院と契約を交わした上で、病院で使用済みのSUDに対して再製造サービスを提供するという「病院サービスモデル」として発達してきたことにある。
- このため単回使用品、複数回使用品に関わらず、また材料クラス分類に関わらず再製造の対象としている点に特徴がある。
- なおKRINKO勧告は病院、再製造企業の両方に規定されているため、理論的には病院でもこの勧告を満たせばSUDの再製造を行える。
- しかしKRINKO勧告は極めて厳格であるので、病院のみこの勧告を満たすことはできず、病院は再製造企業を利用することを選択している。
- なおSUD再製造の販売モデルはEU委員会医療機器指令による「CEマーク」に準じている。

バンガード社訪問 (ベルリン)



バンガード社訪問

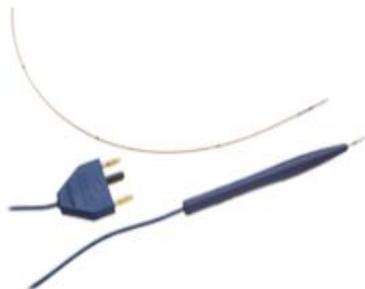


バンガード社幹部との面談

バンガード社の再製造品



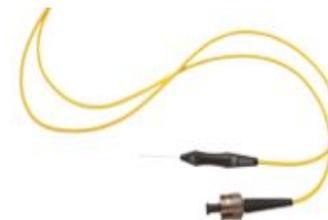
ELECTROPHYSIOLOGY



SURGERY



ARTHROSCOPY



OPHTHALMOLOGY



UROLOGY



CARDIOLOGY / RADIOLOGY /
ANGIOLOGY



ANAESTHESIA AND INTENSIVE CARE



INTERNAL MEDICINE / ENDOSCOPY

イギリス



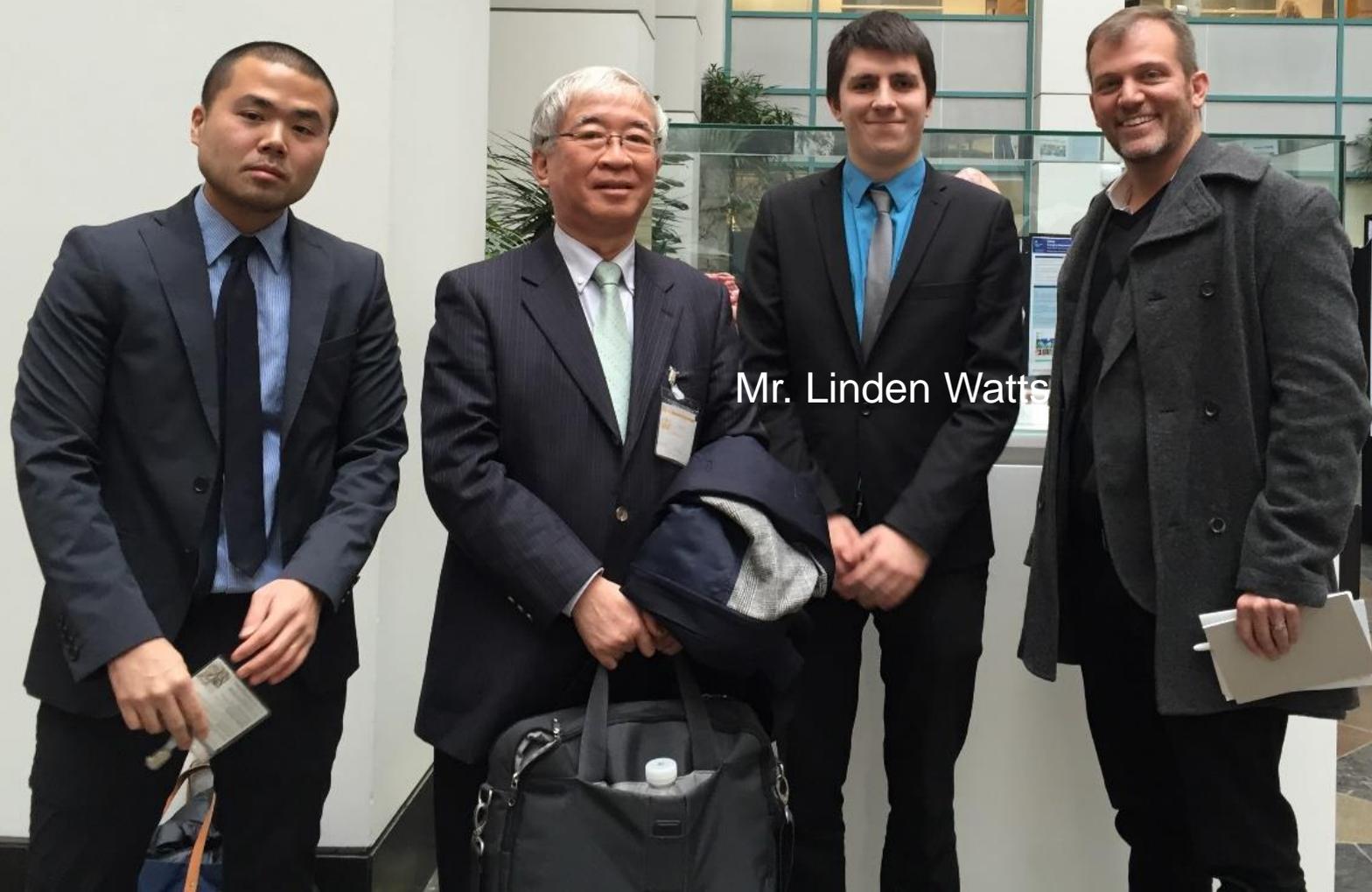
医薬品医療製品規制庁(MHRA)



Ms. Melanie King



イギリス保健省



Mr. Linden Watts

医薬品医療製品規制庁(MHRA)

- Ms. Melanie King Medicines & Healthcare products Regulatory Agency (MHRA)、Team Manager, Imaging, Acute and Community care, Devices
- 2014年に英国は、米国及び西ヨーロッパにおけるSUDの再製造に関する実態調査を実施した
- この調査結果に基づき、医薬品・医療製品規制庁 (Medicines and Healthcare Products Regulatory Agency (MHRA))は2015年に、英国国内に適用されるガイダンス案を発行した。
- EUの医療機器指令93/42/EECの改訂が終了次第、このガイダンス案は見直しが行われ、EU医療機器規制の内容に沿って改訂される予定。



St. George's Hospital

This clipboard is
NOT
a suitable holding place for
leads.
HANG THEM UP IN THE
APPROPRIATE AREAS!

Sustantek
**Reprocessing
Collector System**
888.888.3433
BIOHAZARD

Stryker
MULTI-USE REPROCESSOR

EU本部（ブラッセル・ベルギー）



2016年6月にSUD再製造に関する規制を公表して、EU諸国内で3年以内に関係団体と調整し、関連国内法を改正するように指示した。

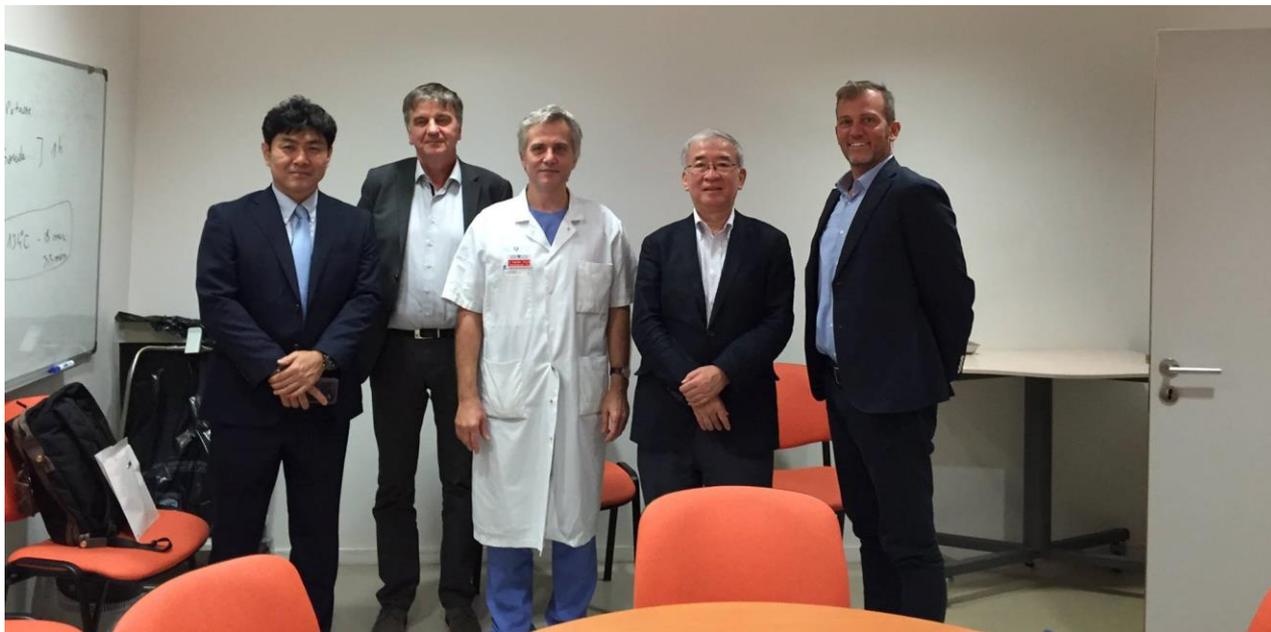


オランダ保健省訪問

オランダはEU規制に沿ってSUD再製造の行う方向

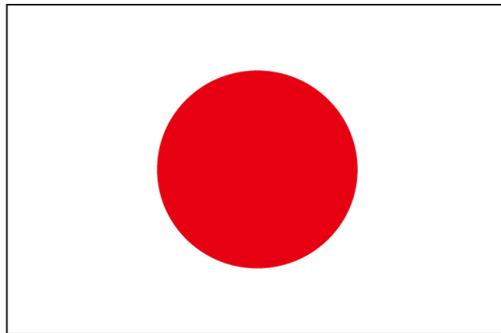


フランスは国内法でSUDの再使用を禁止している
このためSUDの再製造も行わないとだろうとのこと



パート4

国内におけるSUD再製造の今後



我が国のSUDの現状と今後①

- さて振り返って我が国におけるSUDの現状はといえば、ちょうど米国の2000年以前と同じ状況にある
- 単回使用品の院内滅菌を行い、再利用する病院があとを絶たない。
- これは安全性の問題もさることながら、その再利用品を保険請求することは我が国の保険請求のルールを定めた療養担当規則違反でもある
- こうした現状は早急に改めるべきだと我々は考え、2015年より厚生労働科学研究において研究を行っている

平成27年度厚生労働科学研究費補助金
厚生労働科学特別研究事業

単回使用医療機器(SUD)の 再製造に関する研究

国際医療福祉大学大学院

武藤正樹

研究組織

- 研究者名
 - 武藤正樹 国際医療福祉大学大学院 医療経営管理分野教授(研究総括者)
 - 上塚芳郎 東京女子医科大学 医療・病院管理学 教授
- 研究協力者
 - 原澤栄志 一般社団法人日本医療機器産業連合会 常任理事
 - 飯田隆太郎 一般社団法人日本医療機器産業連合会 法制委員会委員長
 - 三田哲也 一般社団法人日本医療機器産業連合会 PMS委員会委員長
 - 牧島まどか 欧州ビジネス協会(EBC)
 - 前田修 欧州ビジネス協会(EBC)
 - 藤田克憲 米国医療機器・IVD工業会(AMDD)RA/QA委員会
 - 関口淳 米国医療機器・IVD工業会(AMDD)RA/QA委員会
 - 外須美夫 九州大学大学院 麻酔・蘇生学 教授
 - 宮本裕一 埼玉医科大学 保健医療学部 医用生体工学科 准教授
 - 伊藤由美 日本ストライカー株式会社 薬事・臨床開発本部
- 事務局
 - 古木壽幸 メディアソリューション株式会社 代表取締役社長
 - ハロルド・スミス サノボメディカル株式会社 チーフエグゼクティブオフィサー
 - 牧野浩志 サノボメディカル株式会社 事業開発マネージャー
 - 山本友紀 メディアソリューション株式会社 シニアマネージャー
 - 福角由美子 メディアソリューション株式会社

研究方法

- 国内調査

- 国内の医療機関に対してSUD再製造ニーズに関するアンケート調査とOEMメーカーの意向聞き取りを実施した。

- 海外調査

- 海外についてはSUD再製造先進国の米国、ドイツ、英国などのSUD再製造に関する実態調査と、各国の規制ガイダンスなどの関係文献を収集し、政府関係者および再製造を行う企業、医療機関の関係者のヒアリング調査を行った。

我が国のSUDの現状と今後②

- こうした調査を通じ、我々は米国のように単回使用品の再製造工程ラインの安全や品質基準、再製造品の安全基準や機能維持基準と、その承認基準、そしてその保険償還基準を早急に検討することが必要であると考えている
- 現在、厚生労働科学研究を通じて、内外のSUDに関する情報を収集し、早ければ2017年度に通知を発出して、国内におけるSUD再製造を認めていく方向

海外で実際に再製造されている製品例

外科系製品群	循環器系製品群	低侵襲機器
<p>整形外科手術と低侵襲手術で使用される外科用器具</p>	<p>不整脈の診断と治療に使用されるカテーテルとケーブル</p>	<p>様々な循環動態の状況のモニタ又は処置のために使用される非手術用機器</p>
<ul style="list-style-type: none"> ➤ 腹腔鏡用血管シーリング装置 ➤ 超音波メス先 ➤ トロッカー ➤ 関節鏡用シェーバ先 ➤ バー・ビット・ブレード 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 超音波診断用カテーテル ➤ 電気生理検査用カテーテル ➤ EPインターフェイスケーブル 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ DVTスリーブ ➤ パルスオキシメータプローブ ➤ 空気圧タニケットカフ ➤ 血圧用カフ

神経電極 (EP) カテーテル



Introducer Sheaths

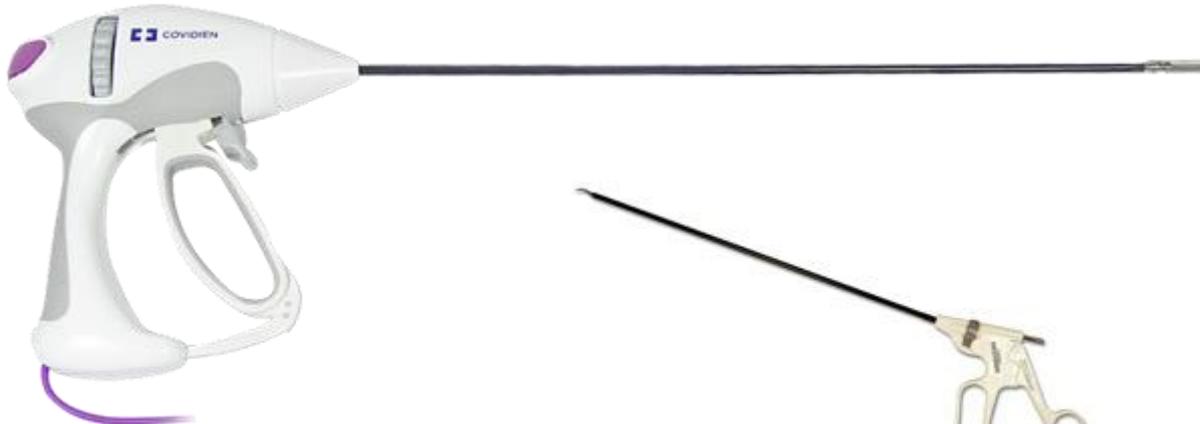


Electrophysiology (EP)
Diagnostic Catheters & Cables



Diagnostic Ultrasound
Catheters

外科系器具



LigaSure™
Sealer/Divider



Laparoscopic
Devices (babcocks,
dissectors,
scissors/shears,
graspers)



Trocars



Ultrasonic Scalpels

低侵襲性の器具

DVT Compression Sleeves



Pulse Oximeter Sensors



ECG Leads



Cerebral Somatic Sensors



Splints



Blood Pressure Cuffs



Stethoscopes



Fall Alarms



Cervical Collars



Pressure Infusers



医療材料
マネジメントで
病院を変える

沢村 正樹 著
医療材料マネジメント研究会 編

医療材料の適正な質の管理、
物流管理、コスト管理が、
良質で効率的な医療を実現する！

医療経営戦略の立案に。また、医療機関で医療材料マネジメントに関わる医師、看護師、用度担当や、医療機器の製造販売関係者から。

付録(2)

今日の講演はこれ1冊で全て分かる！！

まとめと提言

- ・医工連携の第一歩は医療の現場をよく見ること！そしてその課題を知ること！
- ・単回使用医療機器(SUD)の院内滅菌による再使用は安全性の観点から許すべきではない！
- ・我が国でも先進諸外国で行っているような、SUDの再製造の道を切り開くべき
- ・今後、我が国でもSUD再製造業界が育つことを期待したい

ご清聴ありがとうございました



フェイスブックで
「お友達募集」を
しています

国際医療福祉大学クリニック <http://www.iuhw.ac.jp/clinic/>
で月・木外来をしております。患者さんをご紹介ください

本日の講演資料は武藤正樹の
ウェブサイトにて公開しております。
ご覧ください。

武藤正樹

検索



ご質問お問い合わせは以下のメールアドレスで
gt2m-mtu@asahi-net.or.jp